

最近の経済動向

平成27年11月号

(平成27年9月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

〔需要動向（消費・投資）〕

- P 1 ■個人消費 ～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ～ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入 ～ 輸出額、輸入額とも前年を下回った
輸出入額

〔生産動向〕

- P 5 ■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ～ 件数は前年と同数だが、負債総額は増加した
企業倒産件数
負債総額

〔雇用動向〕

- P 7 ■求人・求職 ～ 改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

〔物価動向〕

- P 8 ■物価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

〔企業情報〕

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

〔地域の経済動向〕

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

〔景気動向指数・全国の景気〕

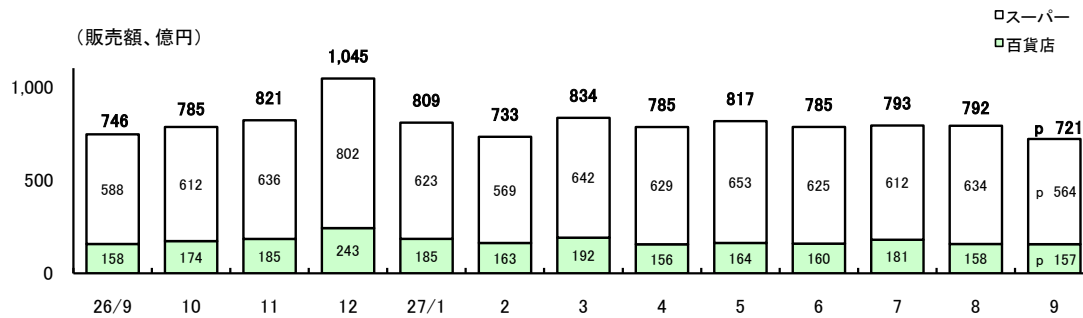
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

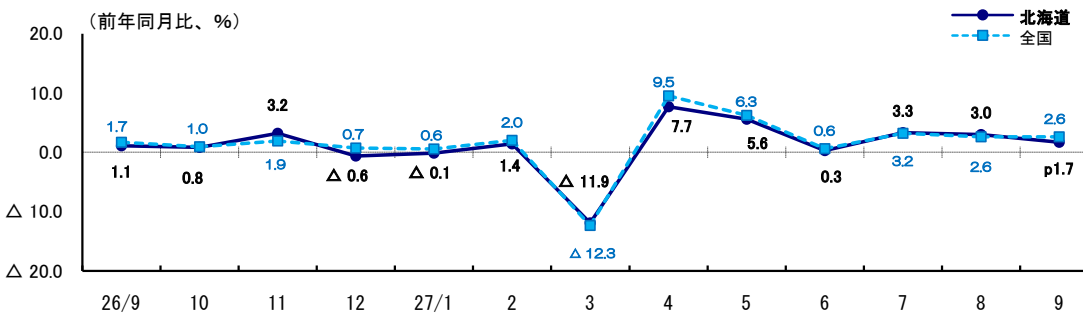
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆大型小売店(全店)販売額(9月)◆

大型小売店販売額は、721億円で前年同月比1.7%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。



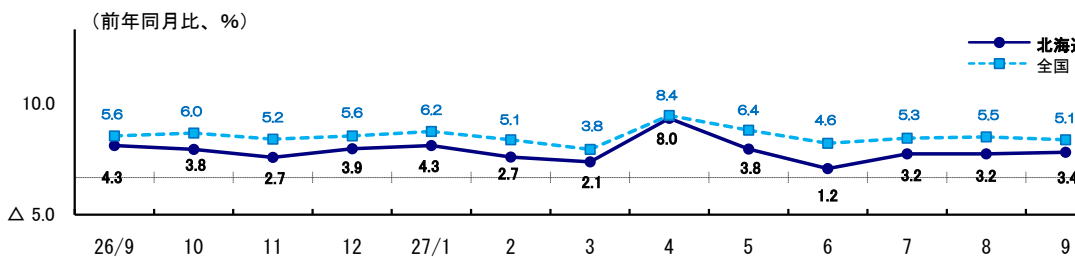
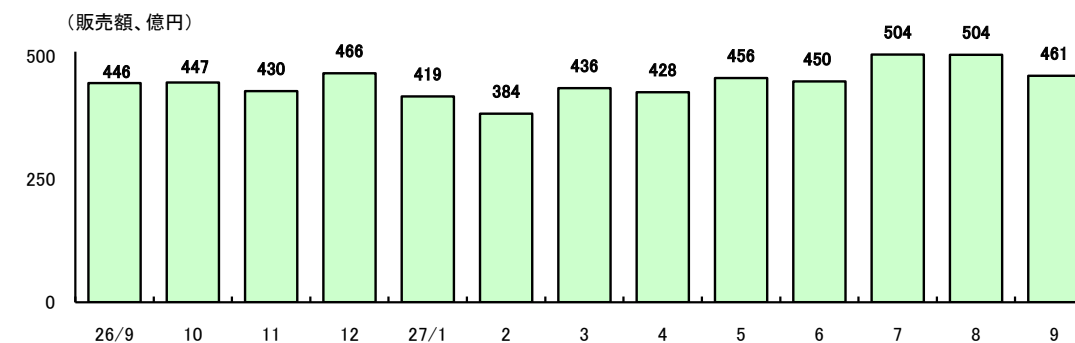
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(9月)◆

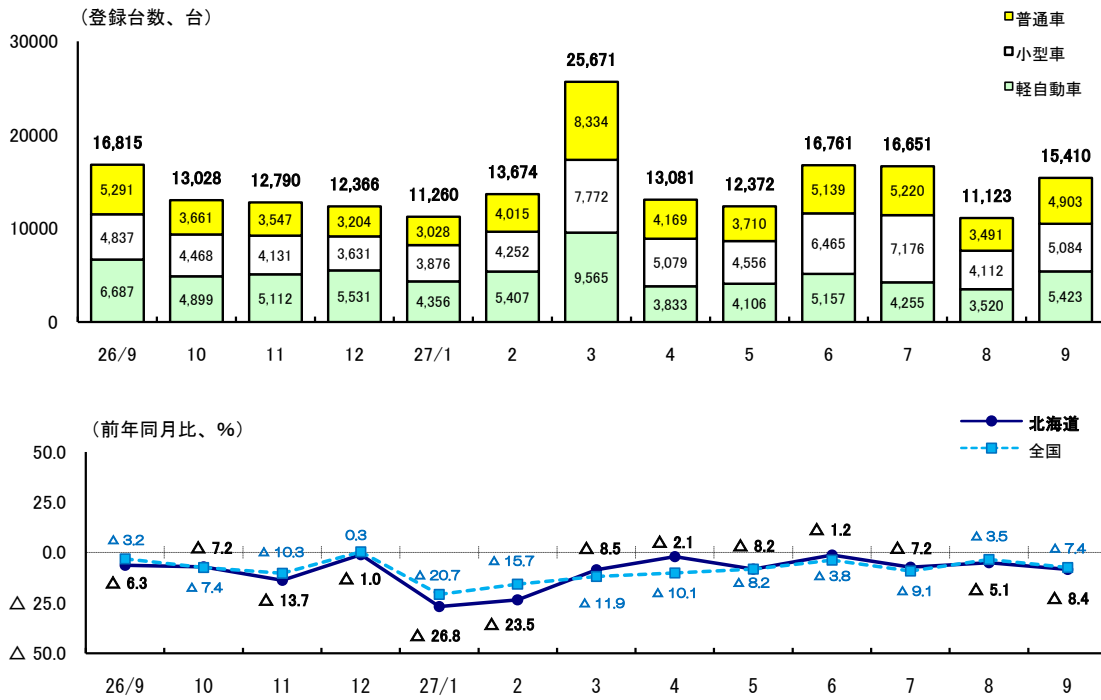
コンビニエンスストア販売額は、461億円で前年同月比3.4%の増加となり、24か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（9月）◆

新車登録台数は、15,410台で前年同月比8.4%の減少となり、18か月連続で前年を下回った。

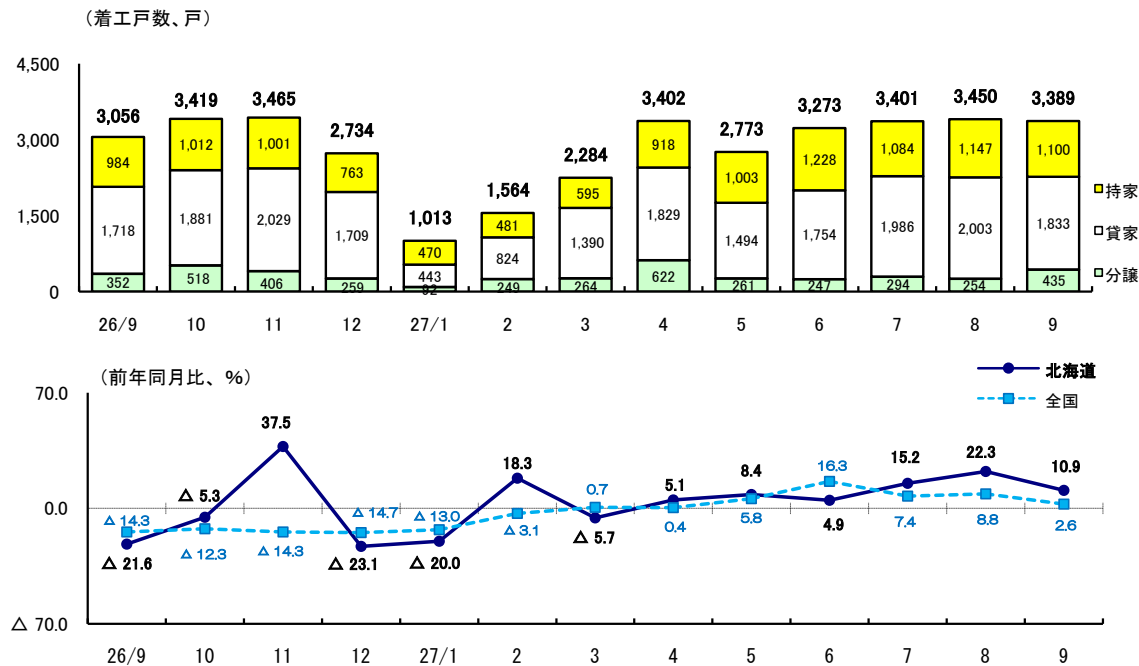


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ~ 持ち直しの動きがみられる

◆新設住宅着工戸数（9月）◆

総戸数は、3,389戸で前年同月比10.9%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。

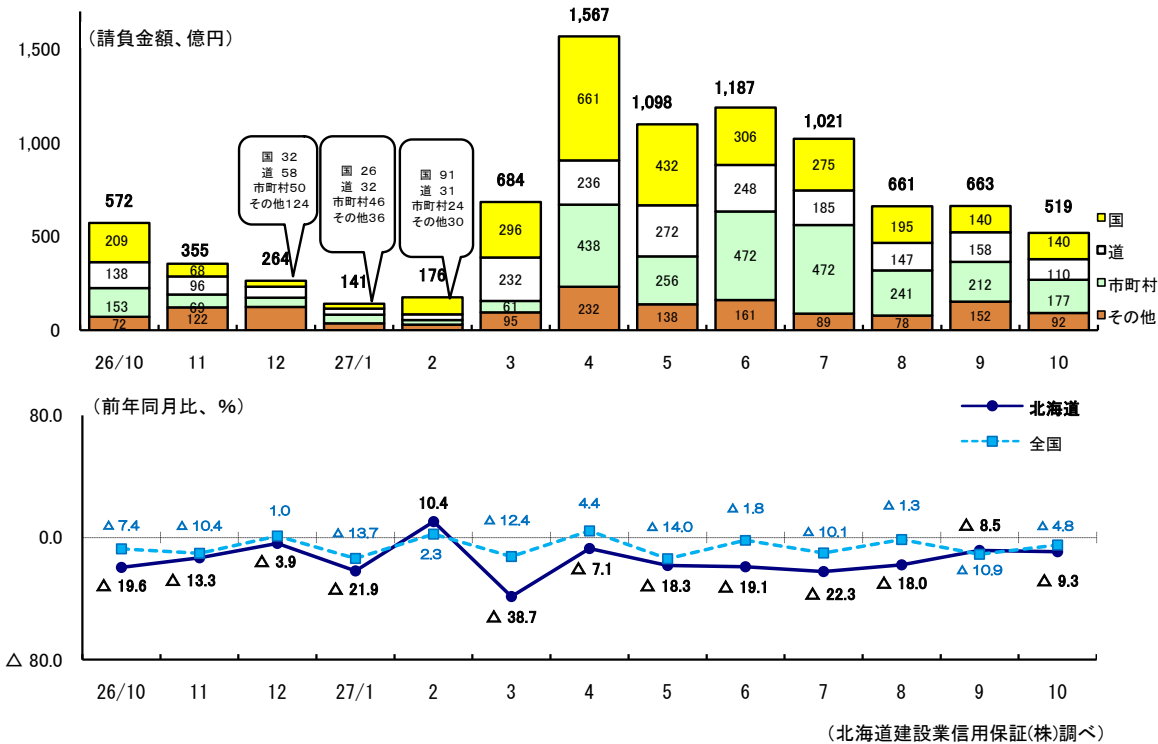


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事 ～ 減少している

◆公共工事請負金額（10月）◆

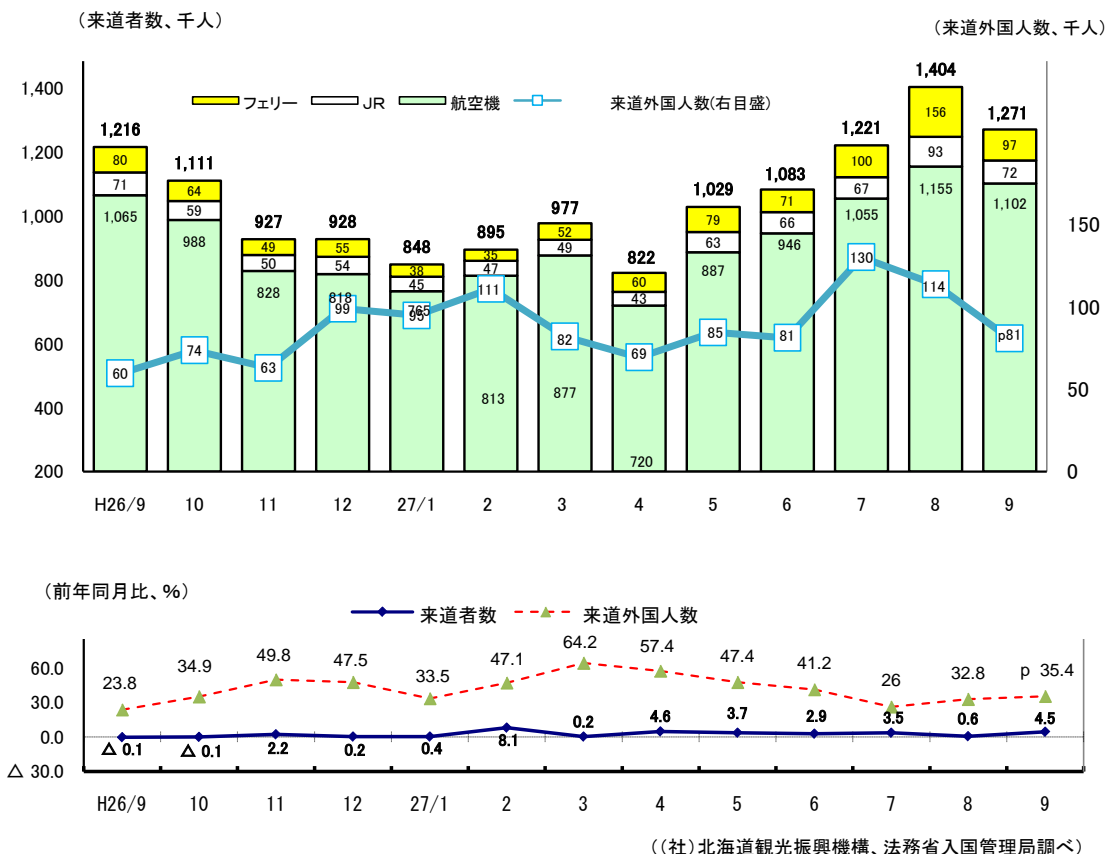
請負金額は、519億円で前年同月比9.3%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。



■観光 ～ 改善している

◆来道者数（9月）◆

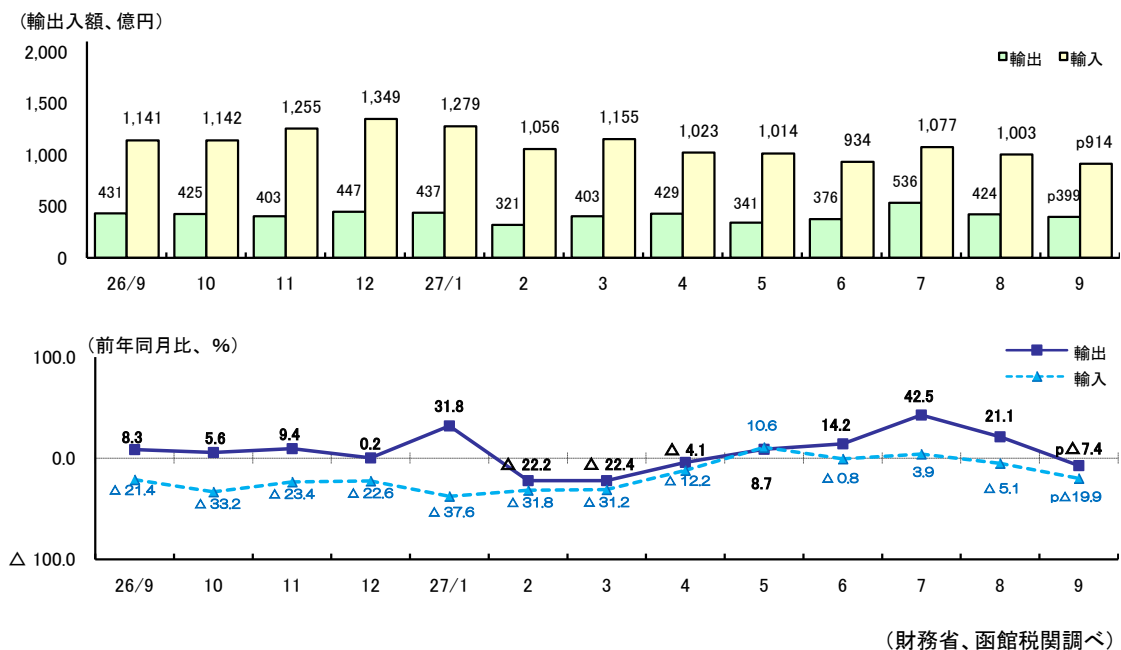
来道者数は、127万1千人で前年同月比4.5%の増加となり、11か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、8万1千人で同35.4%の増加となり、32か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（9月）◆

輸出額は、399億円で前年同月比7.4%の減少となり、5か月ぶりに前年を下回った。
 輸入額は、914億円で同19.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

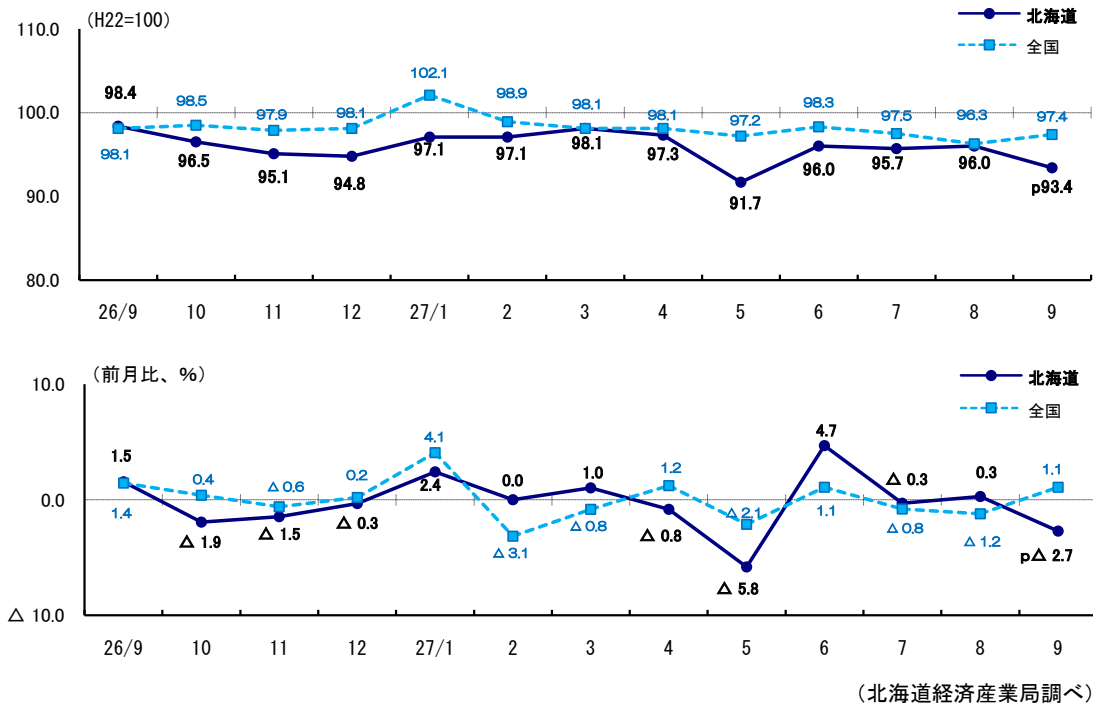


[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（9月）◆

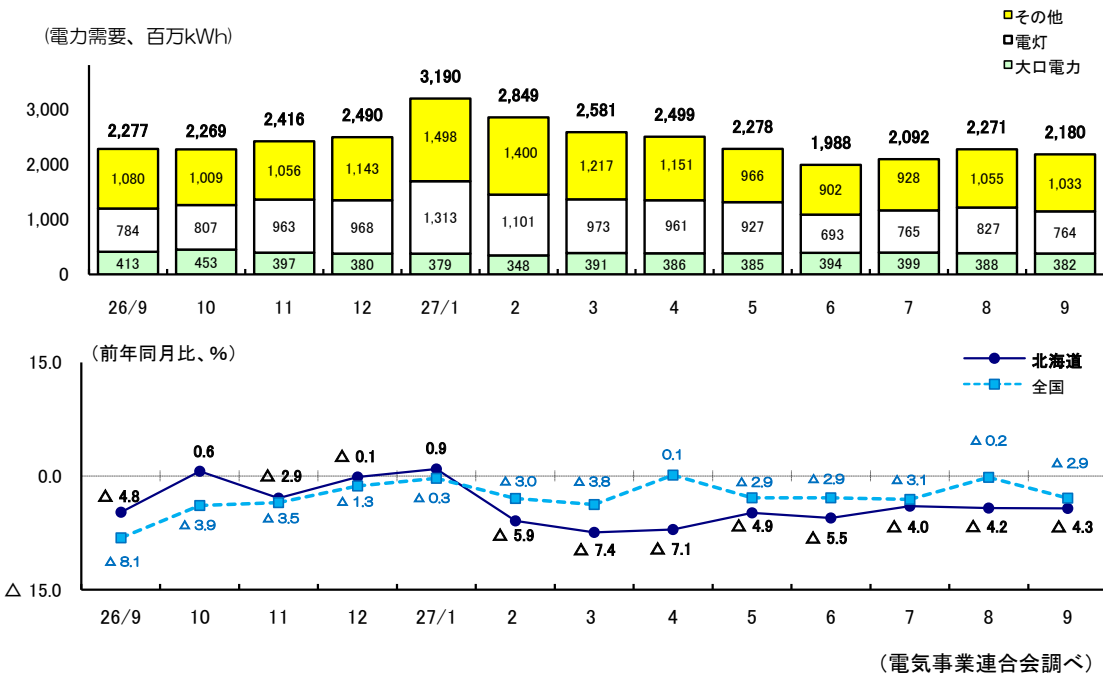
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.4で前月比2.7%の低下となり2か月ぶりに前月を下回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（9月）◆

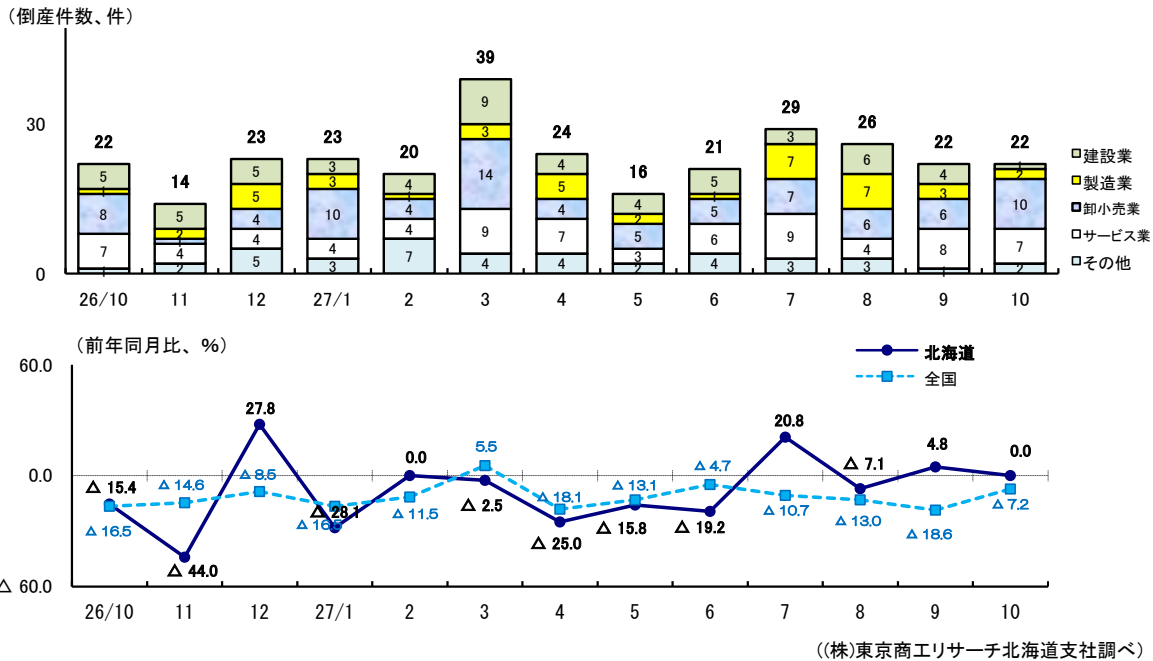
電力需要は、2,180百万kWhで前年同月比4.3%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 件数は前年と同数だが、負債総額は増加した

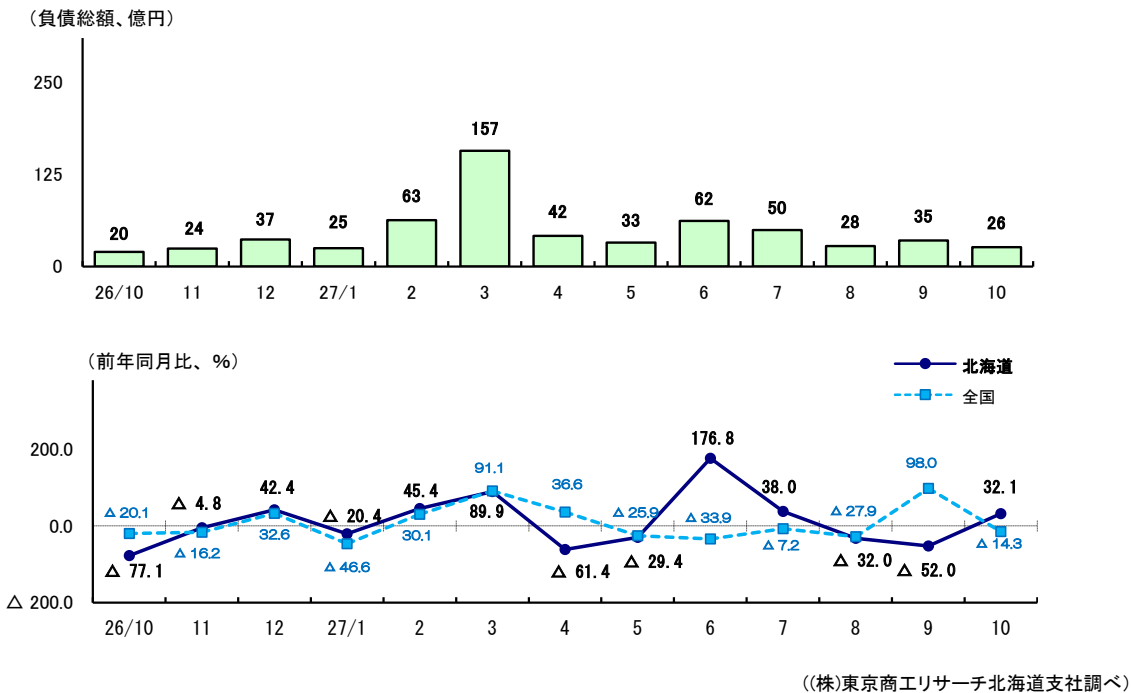
◆企業倒産件数（10月）◆

企業倒産件数は、22件で前年同月と同数となった。



◆負債総額（10月）◆

負債総額は、26億円で前年同月比32.1%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。

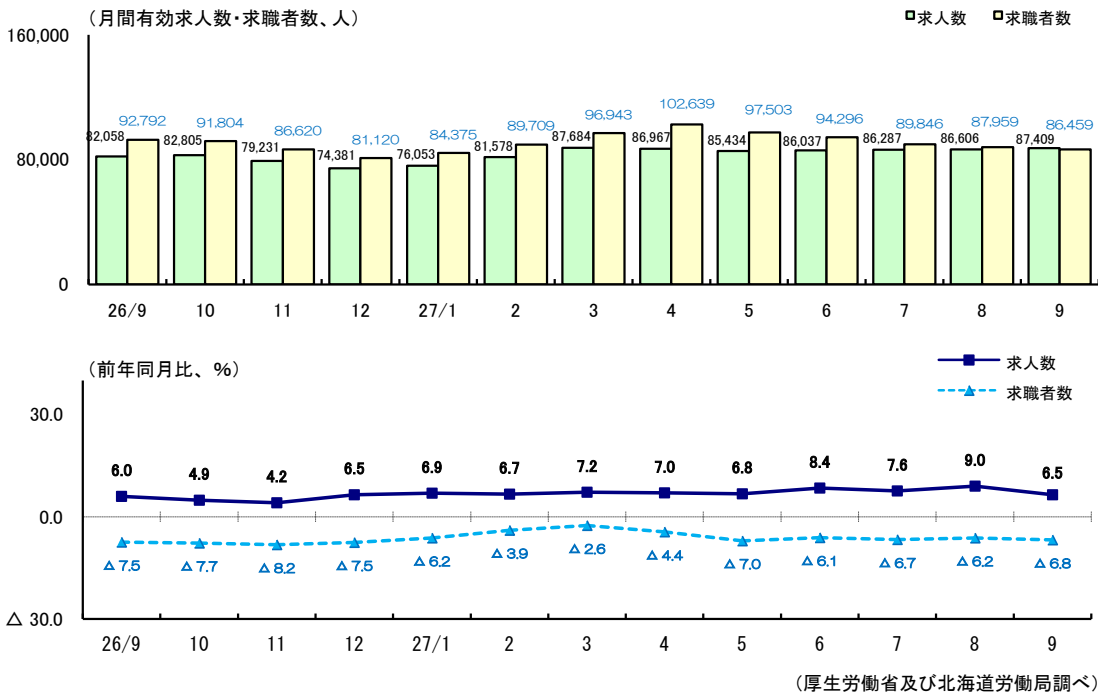


[雇用動向]

■求人・求職～ 改善している

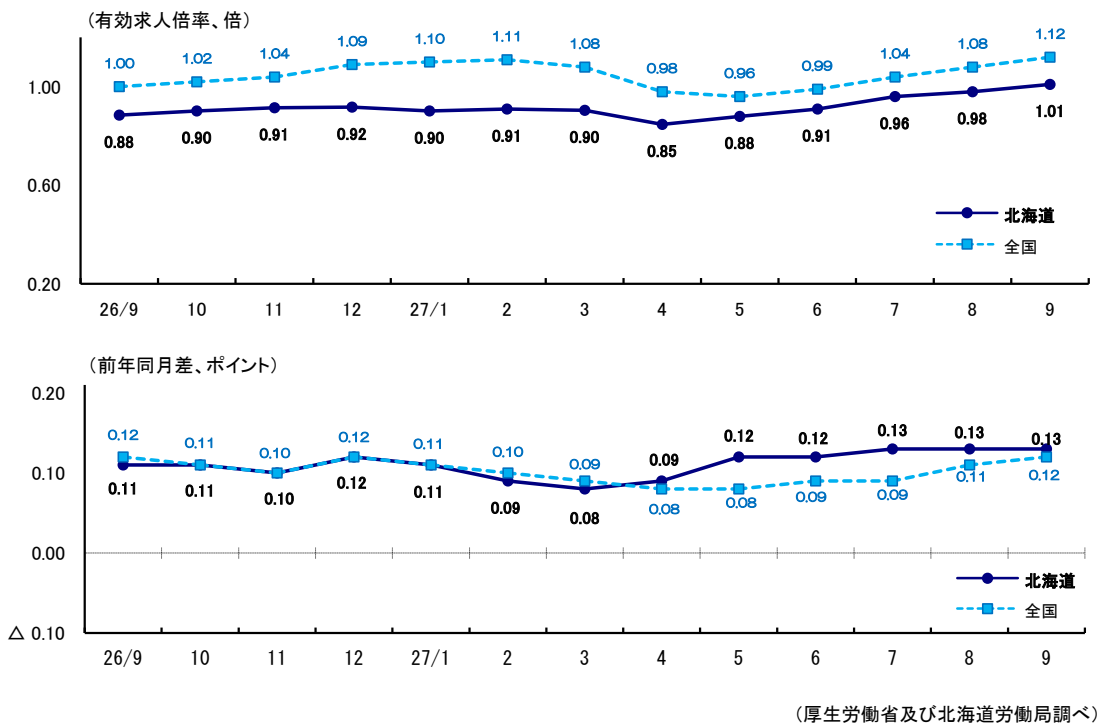
◆月間有効求人数・求職者数（9月）◆

月間有効求人数は、8万7,409人で前年同月比6.5%の増加となり、68か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、8万6,459人で同6.8%の減少となり、47か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（9月）◆

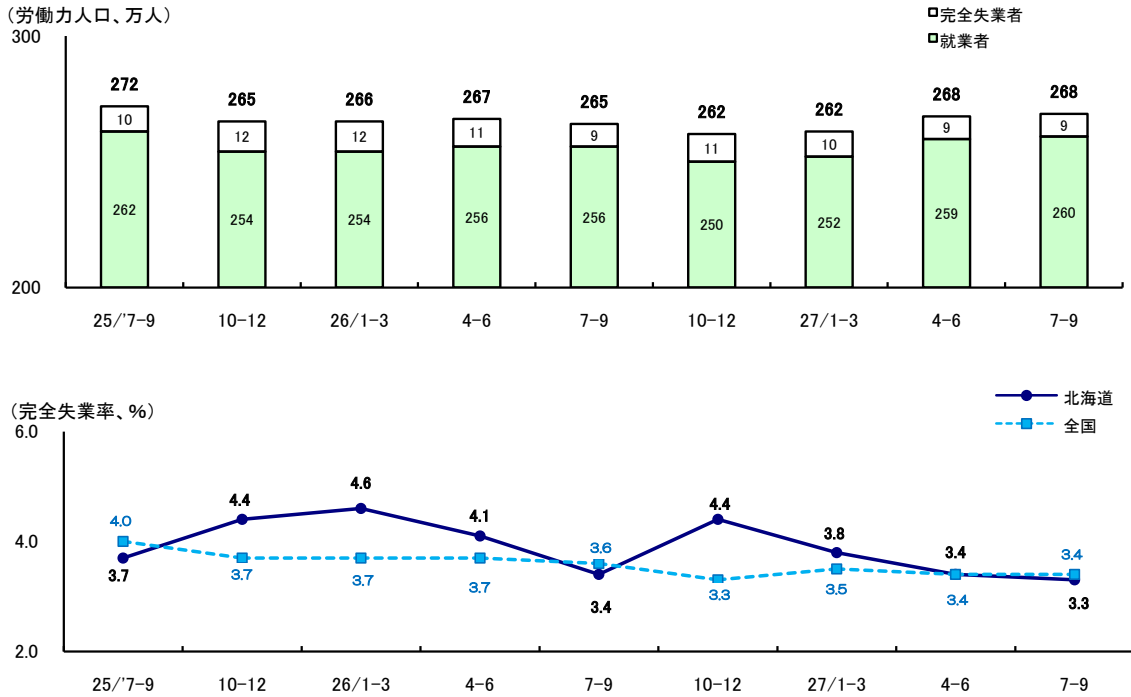
有効求人倍率は、1.01倍で前年同月差で0.13ポイントの増加となり、68か月連続で前年を上回った。



■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年7-9月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と同数となっている。
完全失業率は、3.3%で前年同期から0.1ポイント低下した。



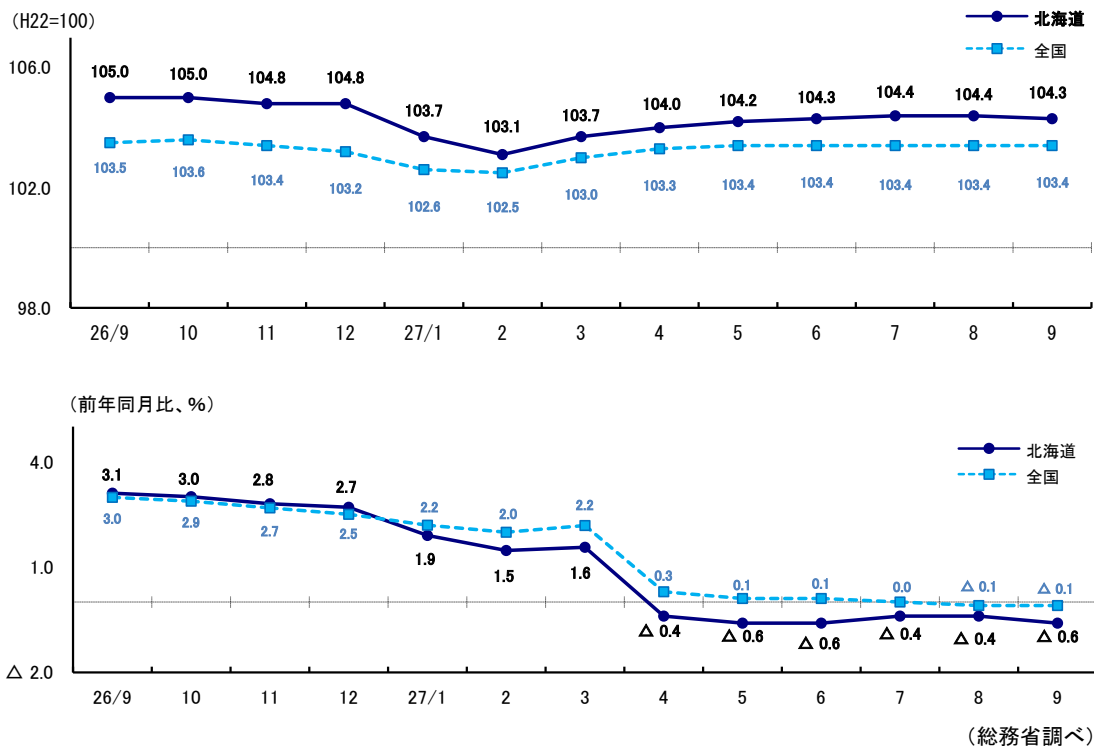
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ~ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（9月）◆

消費者物価指数は、104.3で前年同月と比べ0.6%の低下となり、6ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【売上は前年同月を若干上回った】

10月は、寒い日が続いたものの、コート類が動く気温まで下がらなかったことから、冬物衣料品の売上は伸びなかったが、富裕層やインバウンドに支えられ、全体の売上は前年同月を上回った。

【中間所得層の動きが低調】

札幌で景気回復が実感できず中間所得層の動きが低調な事や、ネット通販の普及など、購入方法の多様化により、主力商品である婦人服などの売上が伸び悩んでいる。

今後は道内初出店等、他店では展開していない新しいブランドの導入や独自性の高い催事・イベント開催などを通じて、中間所得層を含め集客増を図っていきたい。

◆スーパー(道央圏)

【気温の低下により鍋物具材が好調】

10月の売上は、野菜や果物の価格の高止まりや商品単価の上昇により全体として買上点数が減少したが、販促効果もあり来客数や客単価の上昇により昨年同月と比較して堅調な伸びとなった。

また、気温の低下により鍋物のシーズンが始まったことから長ネギ、豆腐、肉類などの具材の売上が好調だった。

ただ、お客様の買上点数が低下から不必要なものは購入しないなどの節約志向が続いていると感じている。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

10月は、前年の同月と比べると、来客数は減少したが、買上げ点数が増えたことで客単価も上昇したことから、売上は増加した。

昨年より気温が低かったことから、朝や夜間の来客数は減少したが、カップ麺・インスタント麺など、温かい商品の売上が増加した。

また、公共工事の減少により、現場労働者による朝の時間帯の利用が落ち込んだことも来客数減少の要因の一つと考えている。

◆道路旅客運送業(道南圏)

【人口減少などによる厳しい経営環境】

事業として乗り合いバス事業をメインに、貸切バス(スクールバス)事業などを手がけている。バス事業の中で厳しい経営環境の要因となっているのが燃料費である。最近の石油価格の低下により若干、持ち直しつつあるが、道南圏をほぼ全域走るために営業キロが長大となり、大きな負担である。

また、全路線の約4割が国、道や自治体から助成を受けている生活補助路線となっているなど、10年以上増収がない状況が続いている。

特にこの地域は、全道でも人口減少率が高く、高齢化が進んでいることから、バスの利用者は年々減少しているが、地域住民の生活の足を守るため、厳しい環境ではあるが、これからもバスの運行に取り組んでいきたい。

【人材不足の深刻化】

人材不足も深刻で、大型2種免許を取得している若者がいないことから、免許取得支援制度を設けているが、これからの人材確保が課題となっている。

【今後の新幹線開業に期待】

新幹線の開業に伴い、2次交通手段としてのバスの利用について、JR等と共同で道南地域を2日間乗り放題出来るチケットの販売や、利便性の高いICカードの導入など、観光客並びに地域住民の皆様により利用していただけるような事業を実施・計画している。

◆サービス業(ホテル・旅館)(道南圏)

【売上は堅調に推移】

客室やロビーのリニューアルやレストランの拡充など、新たな付加価値が生まれたことで客数が維持されており、10月は前年をやや上回るなど堅調な推移となっている。

宿泊は、ほとんどが国内客であり、インバウンドは全体の1割程度に過ぎないが、増えつつあることから、これからはインバウンドの顧客獲得のため、スタッフの外国語習得など、ホスピタリティ向上に向けた取組を進めていく予定。

【新幹線開業効果に期待】

北海道新幹線の開業まであと半年となり、今年度は、開業前効果からか昨年と比較して、閑散期の業績アップが見込まれているが、通常、閑散期は、客室の稼働率が夏場と比べて半分程度まで落ち込むことから、近隣の同業者などとタイアップして新たなイベントの開催に取り組むほか、開業後には新函館北斗駅とホテルを結ぶ無料送迎バスの運行など、多くのリピーターが訪れる魅力のあるホテルとなるよう心がけたい。

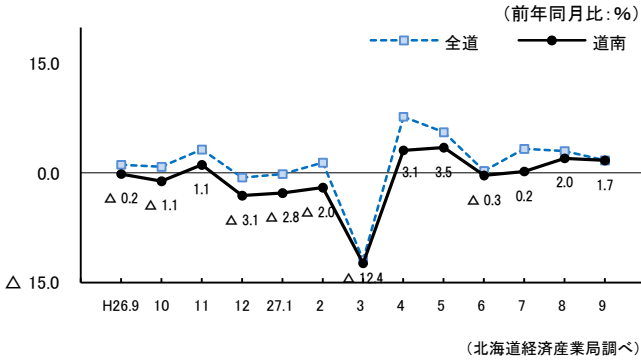
【人材の確保が課題】

雇用面では、毎年、地元で新規採用しているが、接客から宴会のセッティングなど多岐にわたっていることから、1~2割程度が早期退職しており、人材の確保が課題となっている。

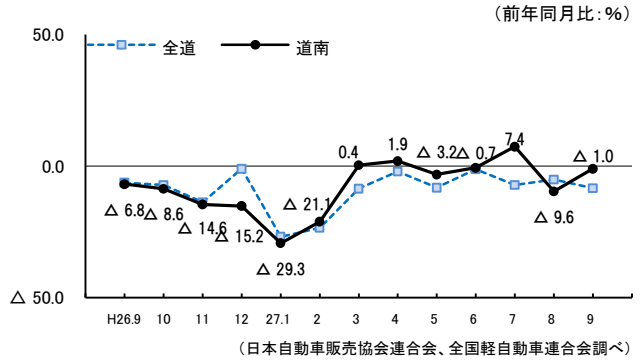
[地域の経済動向]

■道南圏

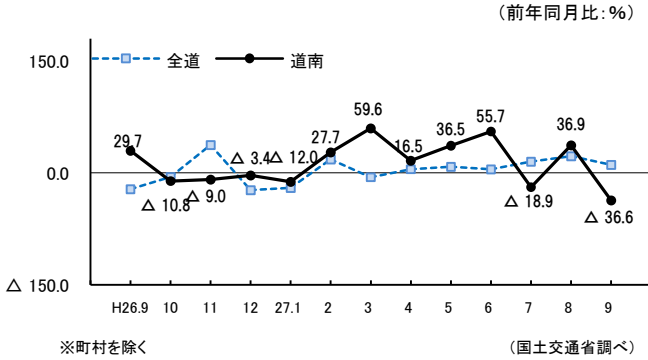
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (9月)◆
3か月連続で前年を上回った



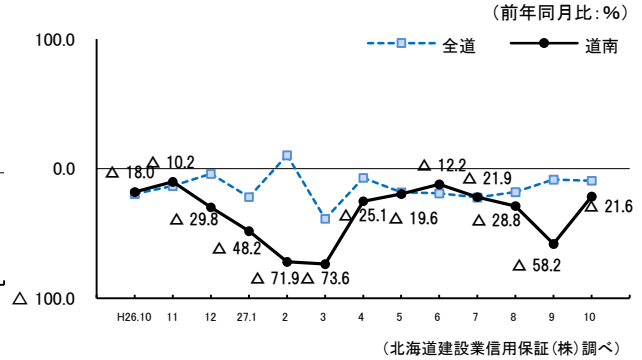
◆新車登録台数(乗用車) (9月)◆
2か月連続で前年を下回った



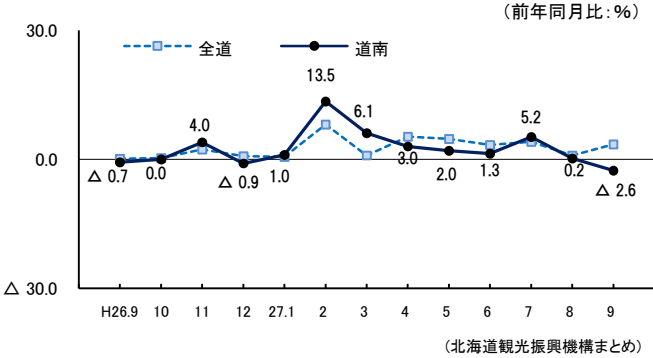
◆新設住宅着工戸数 (9月)◆
2か月ぶりに前年を下回った



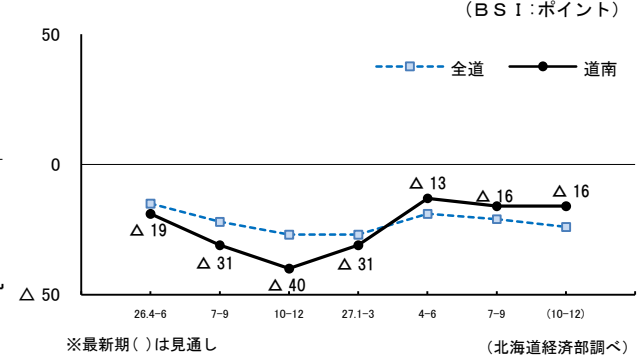
◆公共工事請負金額 (10月)◆
13か月連続で前年を下回った



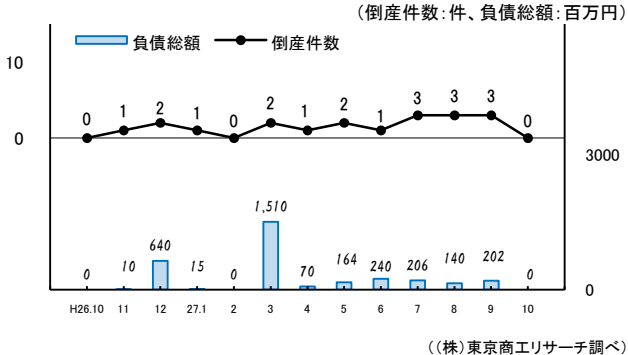
◆航空機利用による来道者数(着地別) (9月)◆
9か月ぶりに前年を下回った



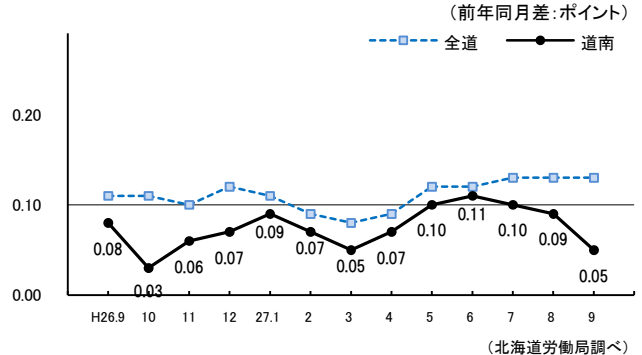
◆企業の業況感 (7-9月期)◆
前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額 (10月)◆
倒産は発生しなかった



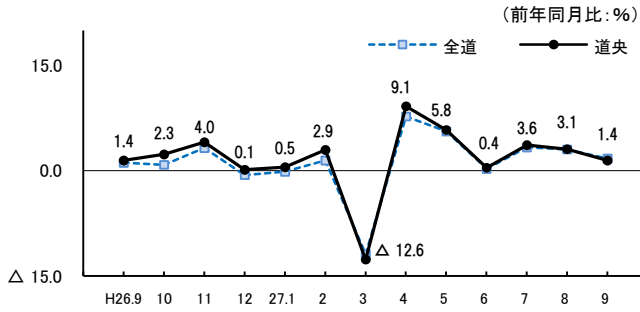
◆有効求人倍率 (9月)◆
65か月連続で前年を上回った



■道央圏

◆大型小売店販売額(9月)◆

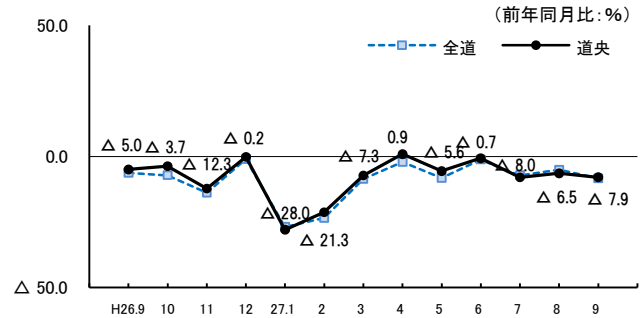
(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
6か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(9月)◆

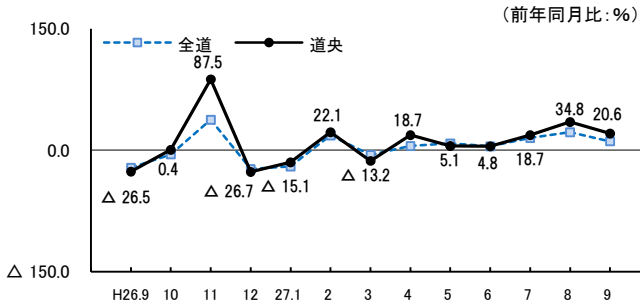
5か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(9月)◆

6か月連続で前年を上回った

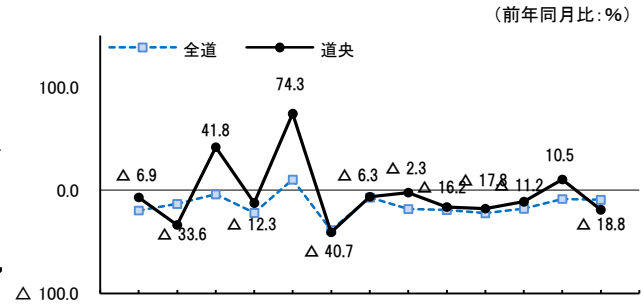


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(10月)◆

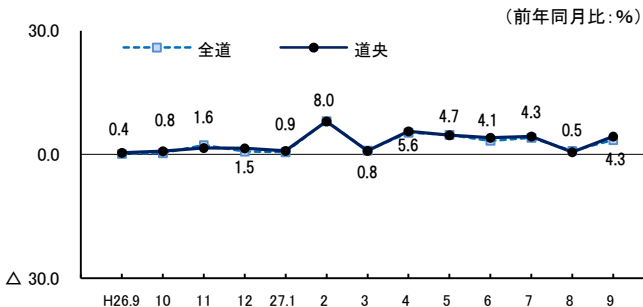
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(9月)◆

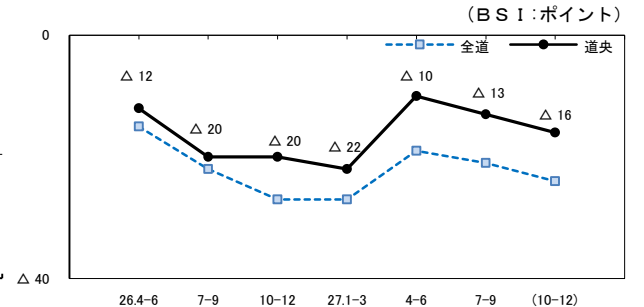
15か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した

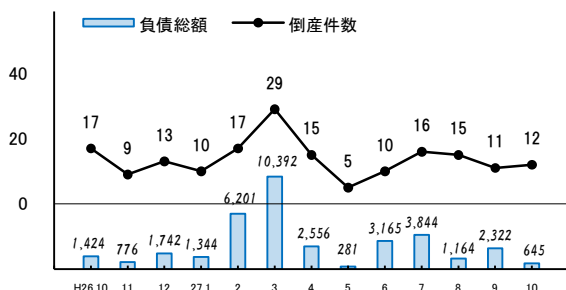


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(10月)◆

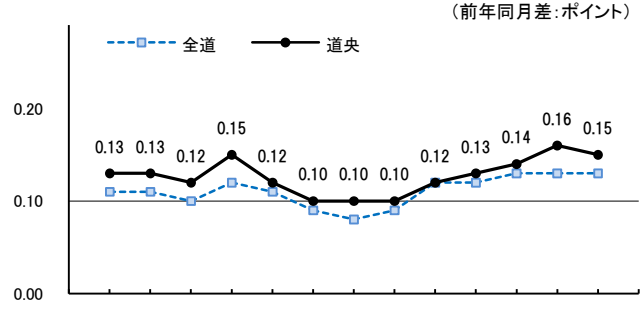
10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率(9月)◆

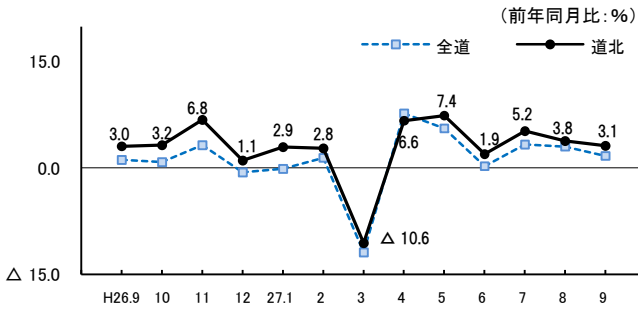
67か月連続で前年を上回った



(北海道労働局調べ)

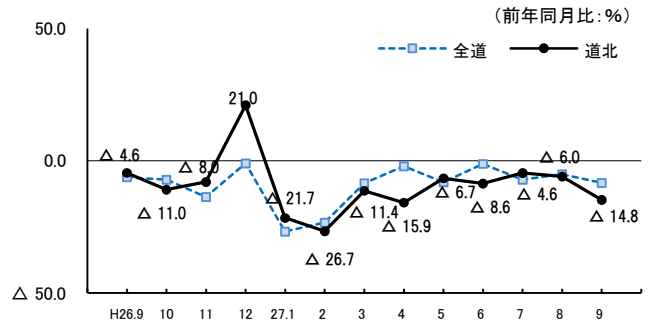
■道北圏

◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (9月)◆ 6か月連続で前年を上回った



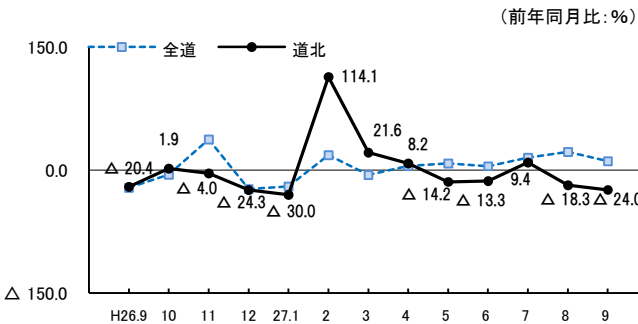
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (9月)◆ 9か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

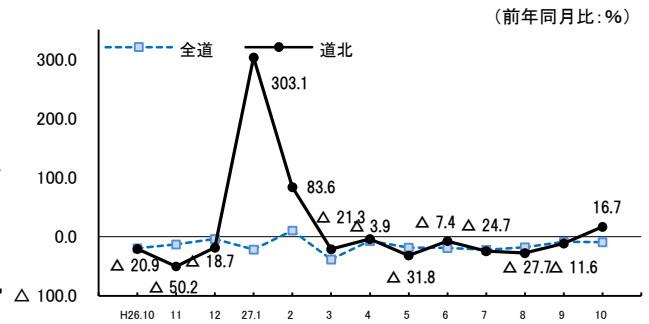
◆新設住宅着工戸数 (9月)◆ 2か月連続で前年を下回った



※町村を除く

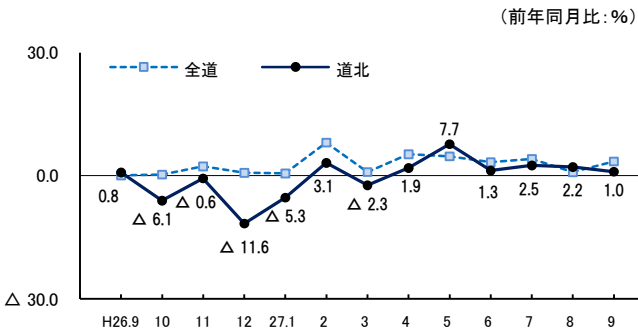
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (10月)◆ 8か月ぶりに前年を上回った



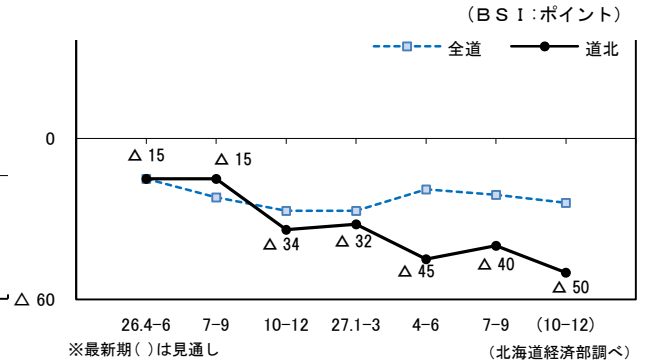
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (9月)◆ 6か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

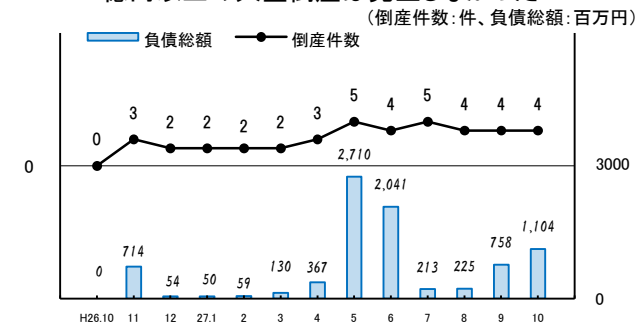
◆企業の業況感 (7-9月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

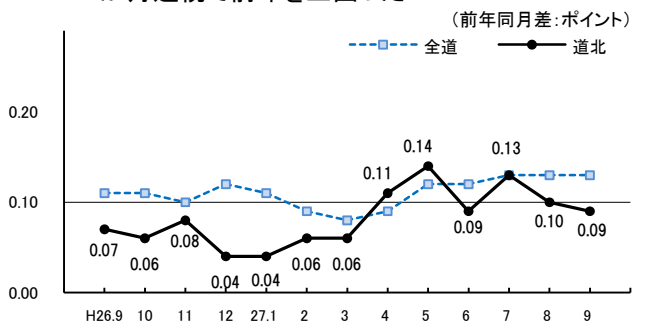
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (10月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (9月)◆ 69か月連続で前年を上回った

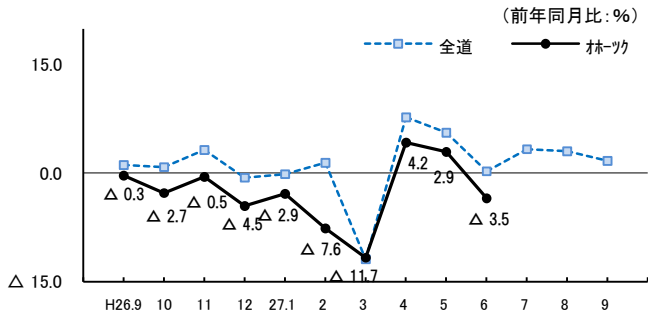


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店) (6月)◆

3か月ぶりに前年を下回った

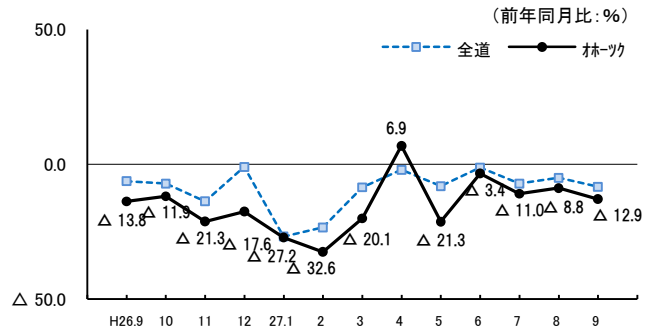


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (9月)◆

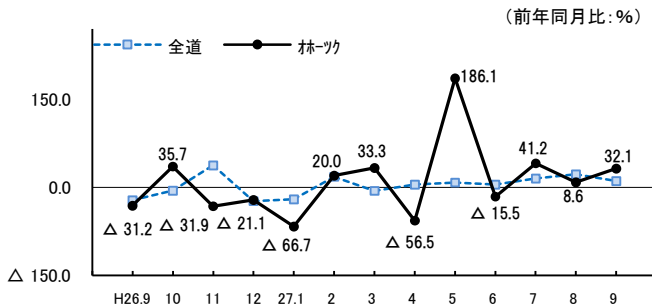
5か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (9月)◆

3か月連続で前年を上回った

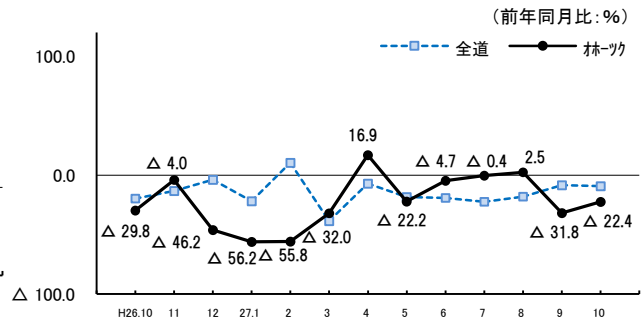


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (10月)◆

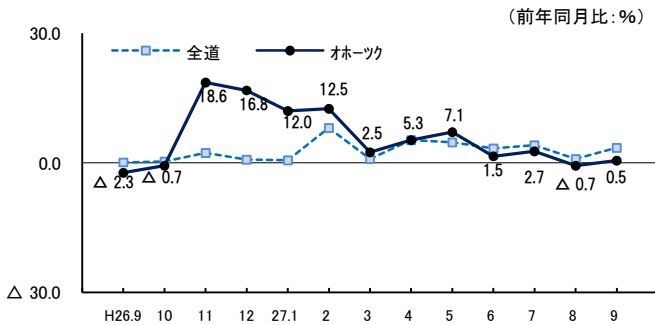
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (9月)◆

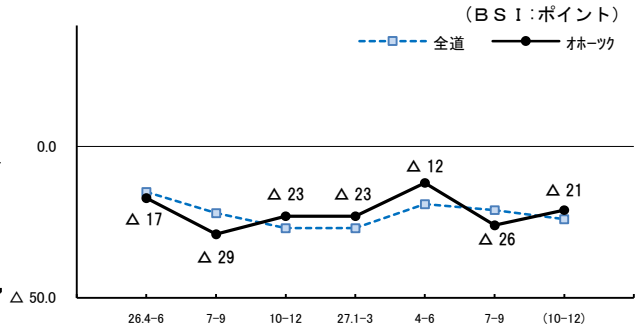
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



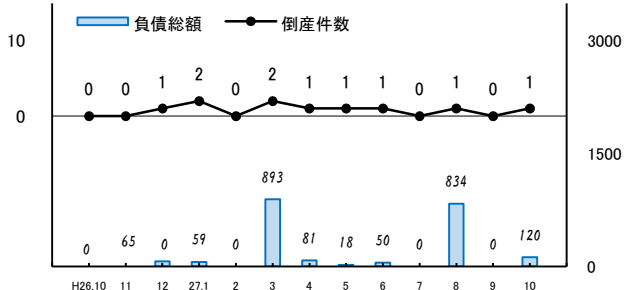
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (10月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

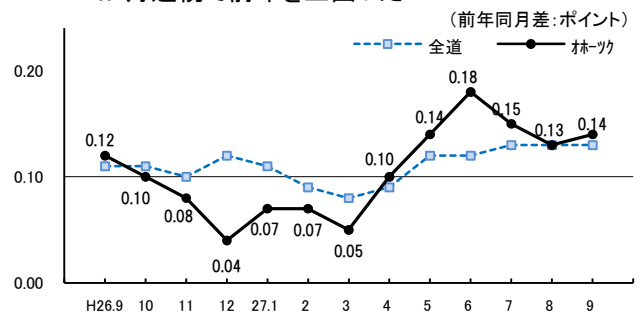
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (9月)◆

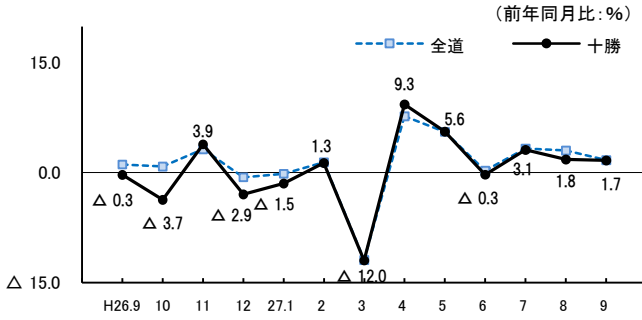
72か月連続で前年を上回った



(北海道労働局調べ)

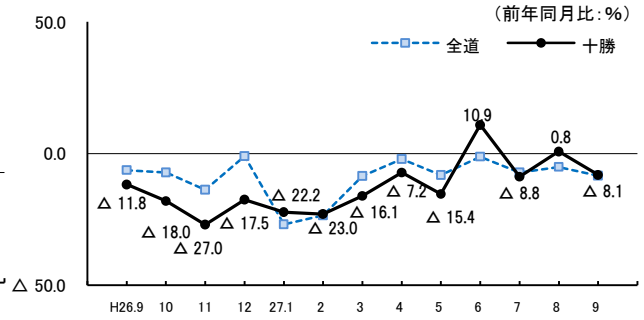
■十勝圏

◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (9月)◆ 3か月連続で前年を上回った



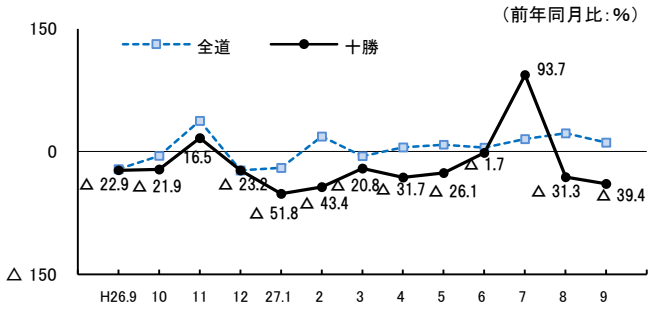
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (9月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

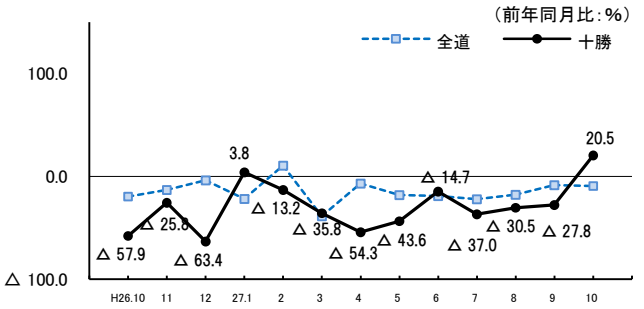
◆新設住宅着工戸数 (9月)◆ 2か月連続で前年を下回った



※町村を除く

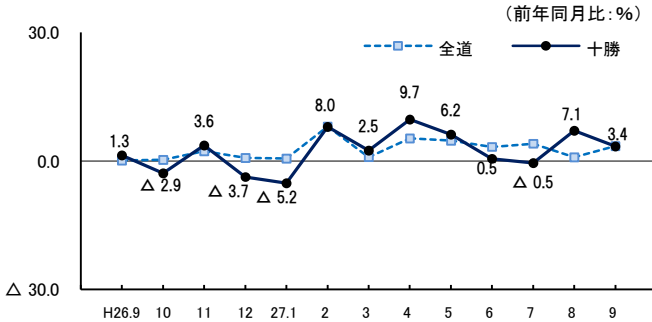
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (10月)◆ 9か月ぶりに前年を上回った



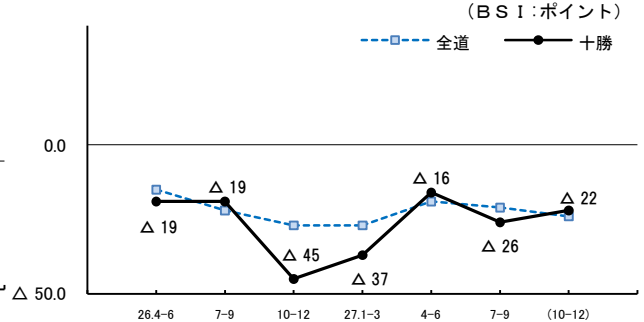
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (9月)◆ 2か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

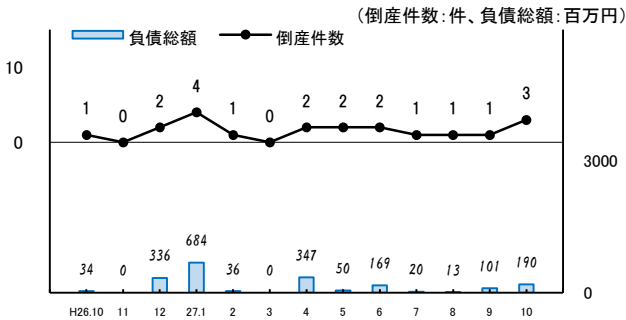
◆企業の業況感 (7-9月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



※最新期()は見通し

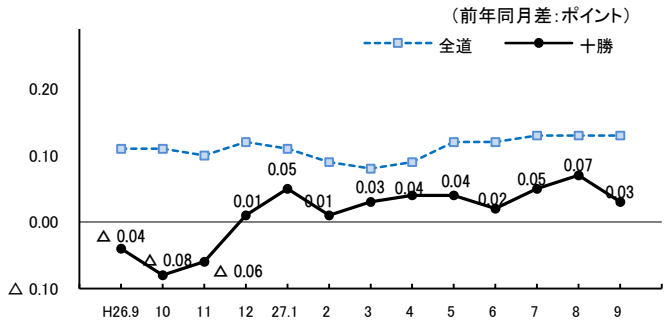
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (10月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (9月)◆ 10か月連続で前年を上回った

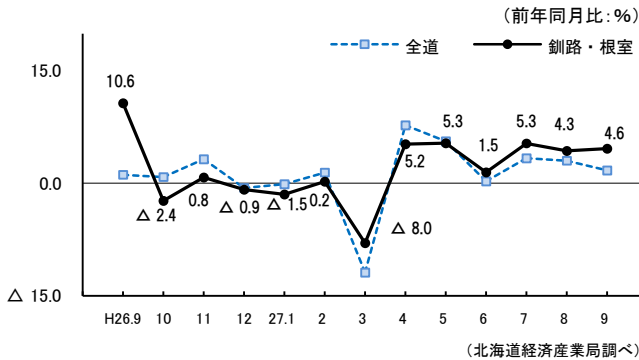


(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

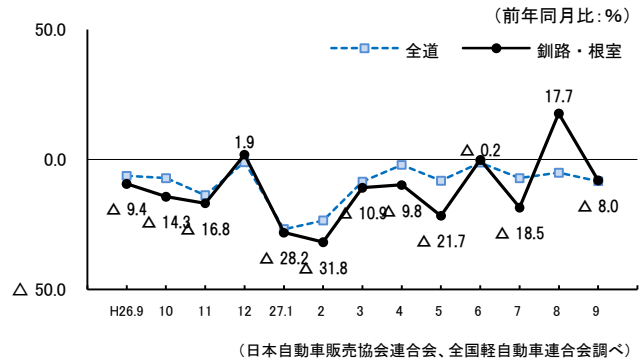
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (9月)◆

6か月連続で前年を上回った



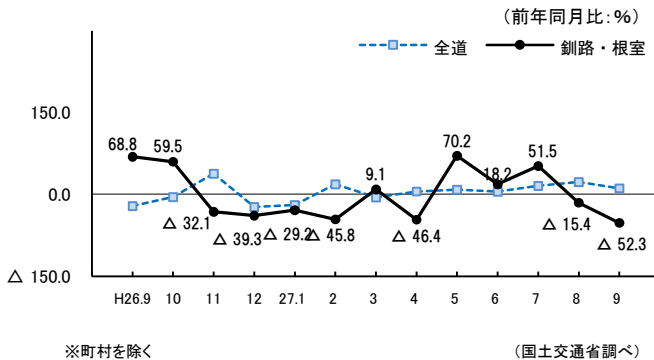
◆新車登録台数(乗用車) (9月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



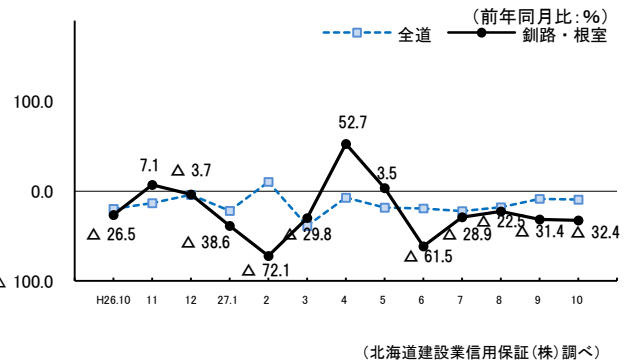
◆新設住宅着工戸数 (9月)◆

2か月連続で前年を下回った



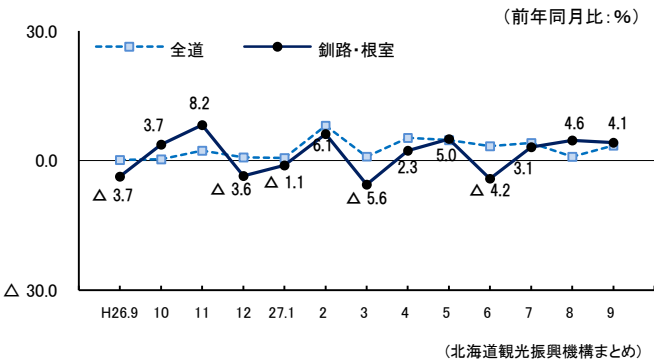
◆公共工事請負金額 (10月)◆

5か月連続で前年を下回った



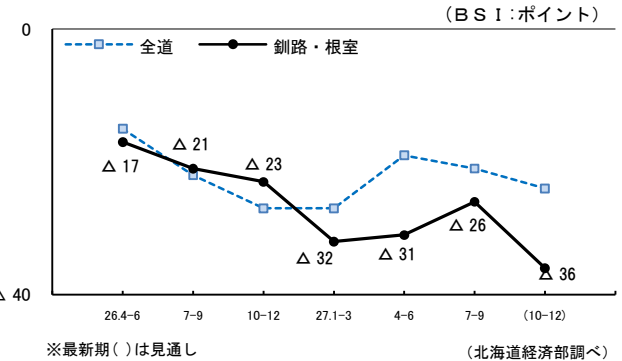
◆航空機利用による来道者数(着地別) (9月)◆

3か月連続で前年を上回った



◆企業の業況感 (7-9月期)◆

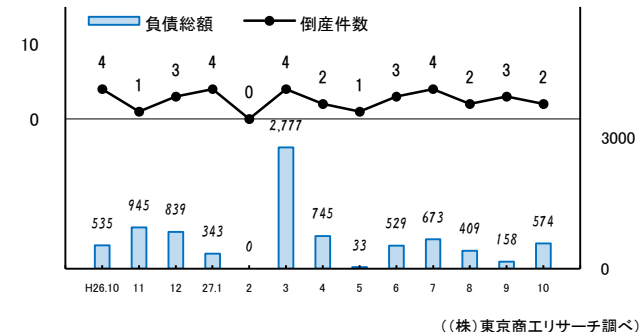
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額 (10月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

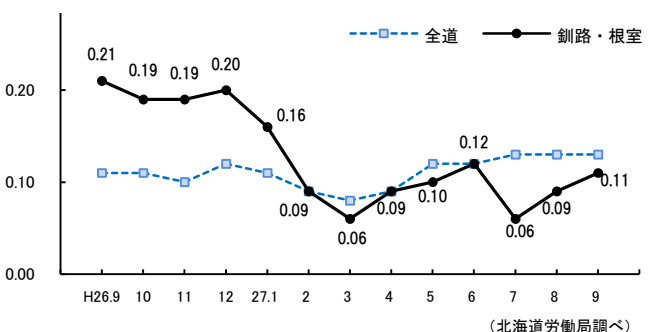
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (9月)◆

70か月連続で前年を上回った

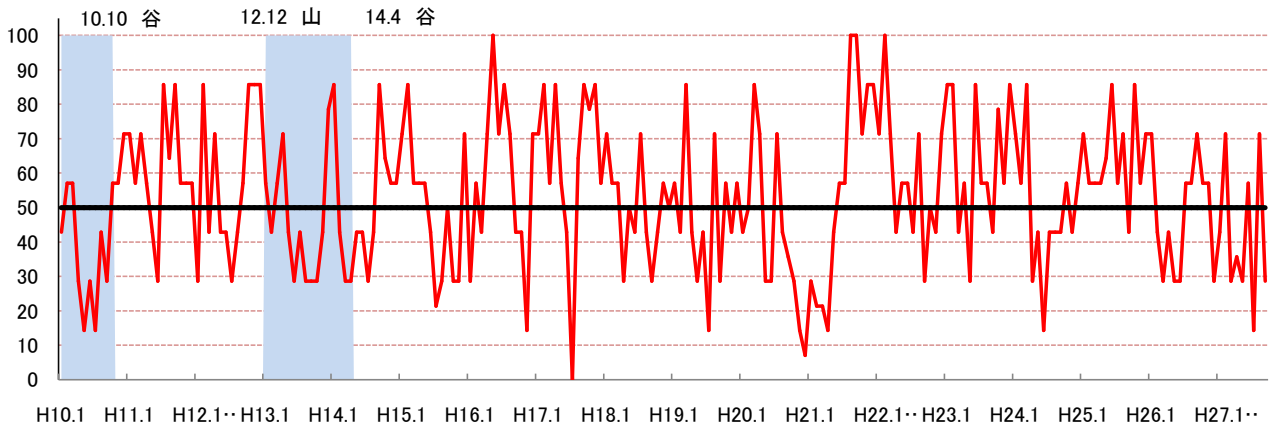
(前年同月差:ポイント)



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		26/ 9月	10月	11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+
	生産指数(生産財)	+	0	+	-	+	+	+	-	-	-	-	r +	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	新設住宅着工戸数	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0	0	-
	拡張系列数	4	3.5	5	3	2	2	2	4	4	5	2.5	4.5	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	57.1	50.0	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	35.7	r 64.3	p 42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+	-	-	+
	生産指数(鉱工業)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	r +	p -
	出荷指数(生産財)	+	+	+	-	-	+	+	0	-	-	-	r +	p -
	大口電力使用量	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+	-	+	-
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	-	-	+	-	+	+	+	-	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	r +	p -
	拡張系列数	5	4	4	2	3	5	2	2.5	2	4	1	5	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	14.3	r 71.4	p 28.6
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	0	0	-
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+
	生産指数(資本財)	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	+	r -	p +
	拡張系列数	1	0	1	0	4	3	3	0	2	2	2.5	3.5	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	50.0	r 70.0	p 50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ弱含んでいる。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。

<内閣府月例経済報告(平成27.11.25)から抜粋>

最近の経済動向
平成27年11月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>